2020年度　部長引継ぎ資料

2018年度から応援団リーダー部が復活しました。59代までは吹奏楽部部長が応援団団長となっていましたが60代以降は異なります。下記の内容には団長の仕事も含まれていますが、今後応援団がどのようになるか分からないため一応記載したままにしています。

仕事内容

* 挨拶

練習・合奏開始時は「お願いします」、練習・合奏後は「ありがとうございました」とあいさつを行います。「諸連絡→小話→挨拶」の流れです。また外部講師や外部団体にお越しいただいた際には相手様に向けてのご挨拶と「お願いします」を行います。

応援団との活動ではもし応援団リーダーに団長がいなければ総部集合時に代表挨拶をします。応援の時には前もって誰かに楽器を預けておくようにしましょう。

また，合宿やコンパなど特別な機会に挨拶をすることもあります。状況に応じて挨拶ができるように、担当者と打ち合わせておくようにしましょう。応援団の懇親会やコンパでは開始の際に一言求められることもあるので応援団の方や応援団担当に確認しておきましょう。

いずれの挨拶も部長不在の際には、副部長や応援団担当に代わりに挨拶してもらうように頼んでおきます。不在の際は早めに連絡してあげましょう。

* エール

「吹奏楽部のコンパでは、応援歌「宇宙を股に」と，エールでコンパを締めます。これらの練習は、正装で人のいないところで行い、また，エール練習に関する話題は他の部員の前では避けるようにするという応援団の決まりがありましたが、私は完全に忘れていたのでそこまで厳守するべきことではないと思います。今年度から応援団が復活しましたがエールの伝授は吹奏楽部で行いましょう。

卒部式のコンパではエール交換を、新歓コンパと新幹部発表コンパでは、新入生・新幹部に向けてエールを行うので、忘れないようにしましょう。卒部式のエール交換については卒部される代の部長の方と相談しておきましょう。」

とありますがコロナで完全に消えました。笑

ただ応援団(リーダー部)の新規入部が今年1名であり、今後応援団が続くか**依然不明なまま**です。応援団不在の機会が増えればエールを求められる機会も必然的に増加するので応援団(リーダー部)から教わるなどしてエールはできるようになっておいた方がいいと思います。

* 二次会について

出欠管理や店の決定は基本的に庶務と副部長に一任しています。

乾杯とお開きは部長に任されています。行事や時間帯により調節するようにしましょう。基本的には90~120分程度がよいと思います。前もって幹部で目安を決めておくと良いと思います。また、開始が遅れたときは乾杯の前に謝罪の一言を言うようにします。

困ったら六甲道前の「居酒屋わん」で飲み放題のコースを予約すればなんとかなります。乾杯の挨拶もなんとかなります

* 文書作成・代表者サイン

依頼を受けて文書作成やサインをします。ブリックやパンフレットのあいさつ文、学生センターに提出する書類のサイン等です。連盟や他団体からの依頼もあります。

* 顧問の先生へのご連絡

幹部交代式や卒部式といった式典への出欠連絡・祝辞依頼などを行います（庶務から依頼されます）。今年度は吹奏楽部のOB総会にも出席依頼をしました。こちらには庶務は関わっていないです。

佐藤先生：[takahirodevelop@gmail.com](mailto:takahirodevelop@gmail.com)

村上先生（顧問代理）：y-murakami@rieb.kobe-u.ac.jp

* 全体ミーティング

従来までの幹部は幹部が方針などを全て決め、下回生はこの引継ぎのみで新年度をスタートしていました。そのため先輩方が「何に躓き失敗したのか」、「どのような思考で幹部生活を送っていたのか」などが分からず何度も同じ過ちをしていたため「全学年が頭を使う部活」をモットーとして始めました。（59代から）

主な議題は「幹部の方針」「新しく導入したこと」「部員の気になることに答える」などです。部長や指揮者の目指しているものは紙やメールでは伝わりません。しっかりと部員全体の前に立ち、訴える必要があります。

62代では復習などの意味を込めて「部の行事」「役割」「位置づけ」などの話をしました。ただZOOMだったので効果に疑問は残りました…

* 部内アンケート

　サマコンと定演後に部内匿名アンケートを行い客観的な意見を受け止め、次の半期に活かしていくのが目的です。各スタッフは個々でアンケートを行っているため59代では生活面、練習面の二つに焦点を絞り行いました。厳しい言葉もたくさんありますが、**決して一つ一つに反論するのではなく**客観的に受け止めましょう。質問項目を部長、副部長、指揮者でよく考えた方がいいと思います。それによって部員の答え方が変わってきます。

* 各種行事・親睦会への参加

吹奏楽部主催の行事、応援団主催の親睦会などの行事は**原則参加**となります。応援団関係の行事は連絡が急なこともあるので、柔軟に対応できるようにできると良いです。ここでは主なもの二つについて説明しておきます。

・応援団の定例会について

定例会は昨年まで以下の通りで行われましたが応援団のOBメンバーが総入れ替えし部長が定期的に出席する定例会はなくなりました。大きな行事の前は呼ばれることもあるため応援団担当としっかり連絡を取るようにして下さい。

　恐らくですがもう定例会は無いです。ただ何があるのか分かりませんので共有しておきます。

・学内行事や体育会運動部のコンパ等への出席

　学内から応援団として来て欲しいという依頼も受けます。、入学式やホームカミングデイでの演奏などがそれにあたります。応援団担当と相談しながら出来る限り出席するようにしましょう。

* 演奏会当日

当日の朝、集合時にお手伝いの応援団の方々に「お願いします」とあいさつします。リハーサル後の学注、演奏会後のビールコンパの乾杯・お開きも行います。流れは総務部長と確認しましょう。

* 応援団について

　応援団リーダー部は59代が復活をさせました。その目的の一つに、学校から要請される応援活動の負担を軽減させるというものがあったようです。応援団は今の学校の経営陣からは非常に受けがいいため、応援団総部に所属しておくことはメリットの方が大きいと考えています。負担はある程度あるかもしれませんが、部員の負担とメリットを、ぎりぎりのバランスで調整していくのが得策だと考えます。(59代部長)

ここからは62代土屋が話します。

上記の話を踏まえつつ2点お話します

1.吹奏楽部について

応援活動をここ２年間全く行えていないこともあり、現状良くも悪くも「応援団気質」は抜け去っています。ですがそれはあくまで「現状の吹奏楽部員」の都合であって、本来は応援団総部の一員であり、外部からはあくまで「応援団」として規律ある、従順な組織・団体だと扱われます。今後は感染収束に伴い「応援団」としての扱いが増加することが見込まれ、そこで発生しうる問題が外部の想定と実情との「矛盾」です。応援団に属する吹奏楽部というのは珍しくなく、京大、関学、立命館など近隣大学に沢山あり、彼らの雰囲気というのは現状私達が持つものと大きく異なります。こうした「イメージ」と「実情」のギャップへの回答を用意する必要があるでしょう。今後この部活をどのような方針にするかは各年代の幹部で決めることです。59代から始まった「脱応援団気質」の方針を受け継ぐでもいいですし、応援団としてのアイデンティティを重視するスタイルに戻しても構いません。大事なことは**「どうあるべきか 」**を幹部、学年で共有し、それに向けて取り組むことです。

2.応援団について

悪く言うつもりはありませんが、現在の応援団(リーダー部)が持続可能な組織であるかというと疑問です。2021年度の新規部員は僅か1名であり、コロナ禍により応援活動もできていないなか、今後数年で最悪再消滅という事態に陥るかもしれません。かつて応援団不在の時期には応援活動への要請に吹奏楽部が応える形で様々な応援活動を行っていました。ですが現状再びそのように応援活動を全てこなす体力や気質が当部にあるとは思えません。応援団維持というのは吹奏楽部が演奏活動に集中するためには必須条件であり、応援団担当を中心に応援団維持への尽力及び応援団への協力をお願いします

* 先生レッスンについて

　2019年は先生レッスンを多くするため、特別会計として一般会計とは別に先生レッスン代を徴収しました。管轄は部長でしたが、会計や正指揮者との兼ね合いでどうしていくか決めていってください。

* 前に張る紙

　やってもやらなくてもいいのですが、演奏会前にみんなに寄せ書きしてもらいます。模造紙は庶務がもっているのでもらってください。ワードで文字を375～400くらいの大きさにしてコピーし、それを模造紙の裏にしいてなぞっていました。

* その他

3月には大学主催のリーダーズトレーニングという行事に参加します。学生センターから案内が来ますが、各団体の代表者がリーダーとして必要な知識や規則などを学ぶ場です。

**代表者という役職上、ここに挙げていない仕事もあるかもしれませんが、臨機応変に上手く処理してください。**

***部長としての心構え***

* 代表者として

部長は周囲からの信頼がとても大切です。外部に出た際には部長の立ち振る舞いが部の評価につながることもあります。部員が胸を張って紹介できるような部長像を作り上げてください。部員へ安心感を与えられるようにできるとよいです。自らを貶めたり、他人を罵倒したりするような発言はしてはいけませんし体調を崩すのもいけません。周りを支える前に自己管理をしっかりと心掛けるようにしてください。

* 部への影響

部長の表情・態度・言動が部に与える影響は大きいです。練習前後の挨拶では、話す内容も大事ですが、言葉遣いや声の大きさも重要な部分です。基本的に元気よく楽しそうに話すと良いでしょう。部長になるとすべての行動が、「部長」としても見られるので上の3つのことには日頃から気をつけておくとよいでしょう。

* 幹部として上手くやっていくために

幹部になると、より幹部同士で衝突することが多くなります。どちらか片方に加担するのではなく、幹部全体を客観的に見守ることも部長には必要かと思います。役職によっては忙しい時期になると、疲れや苛立ちが表情に出てしまったりすることがあります。そういったところから部活の雰囲気が重くなることもあるので、話を聞いたり、明るい雰囲気を作ったりすると良いかもしれません。これらは部長だけですることではありませんが，率先してすべき立場ではあります。それぞれが互いの役職に敬意を持って接することができるのが理想です。

* 最後に

　今後部長としてみられるので、軽はずみな言動は出来なくなります。より慎重に行動した方がいいでしょう。しかし慎重に行動しすぎるのも良くないことです。全体には夢と希望を掲げ、裏から指揮者・副部長を中心に支えていくことが部長の仕事です。

部長としての一年はあっという間なので、この一年を悔いのないよう、楽しんで過ごしてください。

（文責：第59代部長　山本七海生）

ここからは上柿が喋ります。部長として求められるものは回生によって異なります。60代は仕事も滞りなく進み、争いを嫌う人種が多かったため、俺の仕事は本当に少なかったです。逆に59代や61はおそらく、部長がどう舵取りをするかで大きく変わってくるのかな、と思っています。重要なのは、①自分が一定の基準をもって行動すること、そして、部の方向性や一貫性を出していくこと。また、②できる限り頭を使うこと、③バランス感覚、だと思います。俺は②と③がとても不得意だったので、よく失敗をしてきました（笑）。部長は比較的仕事量が少ないです。言い換えると、他の役職は仕事に奔走しなければならないということです。その分部長は頭を使って、他のみんなができないこと、つまり部活動のことを考えるということをしていってほしいです。③は、副部長や正指揮者との関わりから決まってきます。部が前進していくためにどの立ち位置にいるべきか、常に考えた方が良いと思います。頑張ってください。

（文責　第60代部長　上柿拓輝）

佐久川です。今年と同様、2021年もコロナやオリンピックに振り回されることが予想されます。今年を経験して感じたのは、イレギュラーな仕事がでてきた時の対応が後々重要になってくるということです。回生のカラーにもよると思いますが61代では、イレギュラーが起こったときはまず部長に相談が来て、それを担当部署に割り振るという流れでした。もともとの各役職の役割をできるだけ把握し、余力のある部署にうまく振り分けることが大事だと思います。2021年もどうなるのか全く分かりませんが、自分自身が常に余裕を持つことを意識し（私はあまり実現できませんでしたが）、部全体を見つつ、部員1人1人に寄り添うよう心掛ければ、乗り越えられると思います。どやくんらしく、応援団総部吹奏楽部を引っ張ってください。応援しています。

文責　第61代部長　佐久川珠英

土屋です。正直ここ２年が激動過ぎたため2022年への予想が全くできません笑。そのため来年に向けてこうした方がいいだとか言いたいのですが全く言えません笑。ですが1つだけ覚えておいてほしいことがあります。それは小高さんがこの部を今後「**どうしたいか**」決めておいてほしいということです。コロナ禍により急な仕事増え、暇な役職では無くなっています。忙しさのあまり周りを見る余裕もなくなるかもしれません。ですがそんな時こそ自分がこの部をどうしたいのか決めておけば、それを振り返ってみて一旦落ち着くこともできます。63代だからこそできること、63代にしかできない新しい姿の吹奏楽部を作れるよう頑張ってください。(プレッシャーかけているんじゃないですよ！笑)辛い時にはいつでも相談してくださいね!　小高さん並びに63代の活躍を応援しています。頑張ってください！

文責　第62代部長　土屋祥仁

年間スケジュール

例年の主なもののみ挙げておきます．（）内の行事は今年度参加していないものです。コロナで中止になったものは（）無しです。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 行事 |
| 12月 | 佐藤先生へご挨拶  （応援団幹部交代式）  吹奏楽部幹部交代式 |
| 1月 | （所信表明(総部集合は初)）  （定例会）  （全体ミーティング） |
| 2月 | （日本生命顔合わせ）  リーダーズトレーニング |
| 3月 | 全体ミーティング  卒部式(送辞・エール初)  卒団式(祝辞)  春合宿 |
| 4月 | 新歓祭  入学式  （神大音楽祭）  新歓コンサート  （新歓スポーツフェスティバル）  新入生ガイダンス |
| 5月 | 全体ミーティング  （応援団新歓コンパ）  吹奏楽部新歓コンパ(新入生にエール)  応援活動  応援団OB総会 |
| 6月 | （中西先生コンパ）  三商ステージ  突コン |
| 7月 | サマーコンサート  全体ミーティング, 反省会，打ち上げ  神京戦 |
| 8月 | 野球部応援 |
| 9月 | 全体ミーティング  吹部OB総会  夏合宿 |
| 10月 | （応援団追い出しコンパ）  新幹部発表コンパ  応援活動 |
| 11月 | 全体ミーティング  （六甲祭園遊会ステージ）  （六甲祭打ち上げ） |
| 12月 | 突コン  定期演奏会  全体ミーティング, 反省会，打ち上げ |